

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	筑波大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ツクバダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	キャリアデザイン-働く自分-
	学部・研究科等名	人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群、情報学群、医学群、体育専門学群、芸術専門学群
	担当教職員名・役職	五十嵐浩也(教授)、末富真弓(准教授)
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	18	
受入企業等数	12	
受入企業等名	株式会社オオツカ、株式会社筑波学園ホテル オークラフロンティアホテルつくば、ザ・ハウス・オブ プランセ、株式会社イセブ、株式会社エデュケーションデザインラボ、株式会社 扶桑、株式会社ネクステックテクノロジー、株式会社タナカ、つくば市、株式会社セキショウ キャリアプラス、茨城セキスイハイム株式会社、理想科学工業株式会社	
インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 3.その他
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	ワークショップ型研修(学生と社会人との違い、会社の数字の見方、ユーザビリティの基礎、ロジカルシンキング 等)
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	地元企業において、社員の基幹的・補助的業務に取り組むプログラムを実施(営業同行、接客業務、イベント企画運営補助 等)。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	主に1年次・2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	総合科目の1つとして、地元企業における1週間程度の就業体験(インターンシップ)と事前・事後教育を通じて、働くこと及び社会で求められる基礎的な態度や能力についてリアルに体感するとともに、自身の学群以降のキャリア形成について考えを深めることを目的とした授業である。同時に大学時代という時間の有限性を再認識し、学修と学生生活両面における能力開発目標や行動目標の設定、意欲の向上を支援する。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他

要素③	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	インターンシップへ参加した成果報告として、次年度履修者向けに発表を希望する学生を募り、発表の場を設けている。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ期間中に困ったことなどがあればすぐに相談できる体制を整え、学生・企業双方とのコミュニケーションをとるようにしている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	主に以下3点の内容を実施。1.どのような目的を持って就業体験に臨むべきかについて個人ワーク、グループワーク、クラス討議を通して考えを広げ、深める。2.社会で必要とされる基本的なビジネスマナーやコミュニケーションのルールを学ぶ。3.就業体験に臨む姿勢や心構えを明確にし、体験中に取るべき行動についての目標を定める。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験終了後に、業務日報や振り返りのレポート作成などを通して個人で就業体験を振り返り、授業内でグループワークやクラス討議で個々の体験や気付きを共有し、今後の大学生活の目標設定につなげるようにしている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中に困ったことなどがあればすぐに相談できる体制を整え、学生・企業双方とのコミュニケーションをとるようにしている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	5日間のインターンシップ及び授業(グループワーク等)を振り返って、以下の3観点からのレポートを課している。1)職業・仕事について 2)自分自身について 3)今後の大学生活の過ごし方について
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学の夏季休業中に、地元企業における原則連続5日間の就業体験を実施。実習先はオリエンテーション時に説明している
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業を訪問し、授業の概要、目的や意義について説明し、企業の理解を得るようにしている。プログラムについては、企業と相談しながら作成している。評価に関しては、学生が日報を企業担当者に提出し、個別にコメントをもらっている。受入企業から挙げられた課題などがあれば改善点として反映させている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	筑波大学
	担当部署名	学生部就職課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	029-853-2334
	メールアドレス	syushokuka@un.tsukuba.ac.jp